



図書館サポーターズだより

明日に吹く風

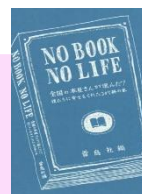


新年度が始まり、早くも一ヶ月が過ぎました。これから本格的に忙しくなると思いますが、そんな時こそ図書館でゆっくりしてみませんか？今回も、図書館サポーターズおススメの本を紹介します。

～図書館サポーター推薦図書～

『全国の本屋さんが選んだ！：僕たちに幸せをくれた307冊の本』

雷鳥社 編 (019.9 || R11)



暖かく、晴れた日もかなり増え穏やかな日々。夏ほど暑くなく、梅雨前の雨が降らない貴重なこの時期はのんびり外で本を読みたくくなります。でも、どんな本を読んだらいいか迷ってしまう時もあります。そんな時、本を探すための本を開いてみませんか？

本のプロである本屋さんがおすすめる全30項目307冊の本が紹介されています。自分の好みや目的、気分に合わせて本が選べるのはもちろん、「タイトルの斬新さにビックリした本」や「デザインに惹かれて中身を見ずに買ってしまった本」など様々な項目から古今東西の本が列挙されています。本を探す時に役立つのはもちろんですが、本屋さんからのおすすめポイントを読むのも楽しくなります。

今まで知らなかった本を片手に、春の陽気を楽しんではいかがでしょうか。 (H. T)

『生まれてバンザイ』

俵 万智 著

(911.168 || Ta97)



あの有名な『サラダ記念日』の著者である俵万智さんが、自身の子どもの日々の日々を詠った短歌をあつめた本です。子どもの出産から幼稚園卒業までの、あたたかな日常が詠まれています。親が子どもを思う気持ちが素直に詠まれた一冊です。日常の中での子どもへの愛情が、詩としてたくさん詰まっています。例えば、子どもが何気なく発した言葉や行動であっても、親はそれを大切に覚えているものです。読んでいるうちに、自分が親にもらった言葉や優しさを思い出し、改めて家族の存在の大きさに気づくことができます。また、俵さんのあたたかな言葉で紡がれる日常の詩は、両親を大切に思うきっかけになるはずです。この本の短歌に触れて、普段何気なく過ごしている日常のあたたかさに、あなたも触れてみませんか？ (M. K)



『か「」く「」し「」ご「」と「」』

住野 よる 著

(913.6 || Su63)



主人公・京は、人の頭上に記号が見える能力を持ち、それによって相手の心情を理解できます。彼を含む5人のクラスメイトは、それぞれ異なる能力を持ち、互いの秘密や感情を知りながら成長していきます。文化祭や修学旅行を通じて、友情や恋愛の葛藤が描かれ、「かくしごと」の意味が明らかになります。この物語は、登場人物の個性が際立っていて、魅力的だと思います。また、物語の構成では、各章のタイトルの記号が異なることを不思議に思いながらも、読み進めるうちに納得できる仕掛けがあります。

青春小説が好きな方や、心に響く物語を求めている方におすすめの一冊です。5月30日には映画も公開されます。自分の本当の気持ちとは。ぜひ読んでみてください！ (S. H)